

<b>授業科目名</b>	人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309)		
<b>時間割名</b>	人間教育学ゼミナール（基礎）(45102)		
<b>時間割担当</b>	岡村季光		
<b>実施期</b>	通年	<b>単位数</b>	4 必修 選択
<b>曜日・時限</b>	木・5		

### 授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、基礎ゼミナールにおいて身につけてきた“アカデミックスキル(Academic Skills)”を活用し、心理学や関連領域の中の文献や資料にあたることによって、自らの専門知識や学士力を深化拡充していきます。卒業論文や卒業レポートにおける自らの研究テーマを決定していくために、文献購読会や研究報告会などを繰り返し設定していきます。

### 学習の到達目標

- ・卒業論文や卒業レポート課題を発見し、探求し、解決する手法を考えて実践する
- ・論理的な構成で、説得力のある発表を行う
- ・グループ討議や相互批評を通して、アカデミックスキルを高める

### 授業方法・形式

- ・具体的なテーマを設定し、学生自身が考え、調べてまとめ、最終的に発表するまでを主体的に行う。
- ・調査、観察などを含む情報収集方法、ブレインストーミング、プレゼンテーション、意見交流など多様な活動を行う。
- ・心理学や関連領域以外の知見を広げるため、他のゼミとの合同ゼミを行う場合もある。

### 授業計画

#### 【前期】

第1回 ガイダンス：本ゼミナールの進め方について  
以降、偶数回は統計の基礎的な学習、奇数回は文献購読会を行う。

#### 【後期】

奇数回は文献購読会や研究報告会、偶数回は統計の基礎的な学習を行う。  
第15回 卒業論文あるいは卒業レポート課題に向けた計画発表

ただし、都合により変更の可能性もあり。

### 成績評価の基準

積極的な授業参加、プレゼンテーション、課題・レポート等を総合的に評価する。

### 準備学習・復習及び授

- ・卒業論文や卒業レポートにおける自らの研究テーマを探求するために、積極的に情報収集を行うこと。
- ・統計の基礎的な学習を授業外でも自学すること。

### 履修上のアドバイス及

この1年間は、卒業論文や卒業レポートにおける自らの研究テーマを探し求め決定していく作業になります。自らの問題意識は何なのか、様々な文献を購読しながら、一番関心のあるテーマを見つけてください。また、他者の研究発表が貴重なヒントを見いだすこともあります。他者の発表を他人事としてみなさず、積極的に意味を見いだす態度をとることを求めます。

### 教材・教科書

必要に応じて、授業中に指示します。

### 参考書

必要に応じて、授業中に指示します。